

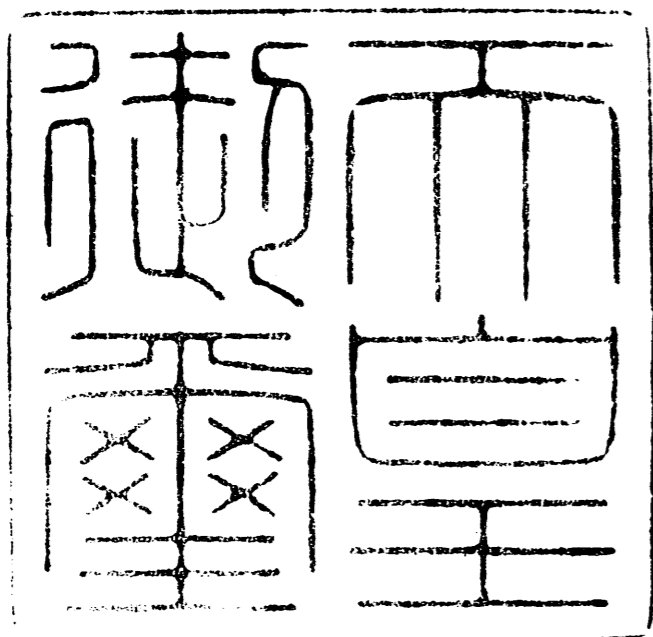
勅令第一號

一

號

朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ高等試験
令中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公
布セシム

裕仁



昭和十六年一月四日

内閣總理大臣公爵近衛文麿

外務大臣松本洋右

司法大臣柳川平助

勅令第一號

高等試験令中左ノ通改正ス

第一條中「奏任文官ノ任用資格試験、外交官及領事官ノ任用資格試験」ヲ「奏任文官及外交官領事官ノ任用資格試験」ニ改ム

第十條 本試験ヲ分チテ行政科及司法科ノ二科トス

受験者ハ二科ノ試験ヲ併セ受クルコトヲ得

第十三條 行政科試験ノ筆記試験ハ左ノ七科目ニ付之ヲ行フ

一 憲法

二 國史

三 行政法

四 經濟學

關

五 民法、國際公法及外國語ノ中二科目（受験者ヲシテ豫メ選擇セシム）

六 哲學、民法、商法、刑法、民事訴訟法、刑事訴訟法、國際公法、國際私法、政治學、財政學、經濟政策、外交史、經濟地理及外國語ノ中一科目（受験者ヲシテ豫メ選擇セシム但シ民法、國際公法及外國語ハ受験者ガ前號ニ於テ選擇セザル場合ニ限り之ヲ選擇スルコトヲ得）

行政科試験ノ口述試験ハ國史、行政法（筆記試験ニ於テ國際公法及外國語ヲ受験シタル者ニ付テハ其ノ志望ニ依リ國際公法ヲ以テ之ニ代フ）及經濟學ニ付之ヲ行フ
外國語ハ英語、佛語、獨語、支那語、露語及西班牙語ノ中ニ就キ

受験者ヲシテ豫メ一種ヲ選擇セシム

受験者ノ願ニ依リ其ノ選擇シタル外國語ノ外他ノ外國語ヲ併セ試験スルコトアルベシ

第十四條 削除

第十五條 司法科試験ノ筆記試験ハ左ノ七科目ニ付之ヲ行フ

一 憲法

二 國史

三 民法

四 刑法

五 商法、民事訴訟法及刑事訴訟法ノ中二科目（受験者ヲシテ豫メ選擇セシム）

六 哲學、商法、民事訴訟法、刑事訴訟法、破産法、行政法、
國際私法、經濟學及刑事政策ノ中一科目（受験者ヲシテ豫メ
選擇セシム但シ商法、民事訴訟法及刑事訴訟法ハ受験者ガ前
號ニ於テ選擇セザル場合ニ限り之ヲ選擇スルコトヲ得）

司法科試験ノ口述試験ハ國史、民法及刑法ニ付之ヲ行フ

第十六條 第十三條及前條ニ掲グル科目中必要ト認ムルモノニ付
テハ閣令ヲ以テ其ノ範圍ヲ定ムルコトヲ得

第十八條 一ノ科ノ本試験ニ合格シタル者ニシテ他ノ科ノ本試験
ヲ受ケントスルモノニ付テハ受験者ノ願ニ依リ其ノ既ニ受験シ
タル科目ノ試験ヲ免ズ但シ行政科本試験ヲ受ケントスル者ニ在
リテハ行政法及經濟學、司法科本試験ヲ受ケントスル者ニ在リ

テハ民法及刑法ノ試験ハ之ヲ免ゼズ

附 則

本令ハ昭和十七年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

従前ノ規定ニ依ル行政科又ハ外交科ノ本試験又ハ其ノ筆記試験ニ
合格シタル者ハ各之ヲ改正規定ニ依ル行政科ノ本試験又ハ其ノ筆
記試験ニ合格シタル者ト看做ス

前項ノ規定ニ依リ改正規定ニ依ル行政科試験ノ筆記試験ニ合格シ
タル者ト看做サレタル者及従前ノ規定ニ依リ司法科試験ノ筆記試
験ニ合格シタル者ニ對シテ第十七條ノ規定ヲ適用シテ口述試験ヲ
行フ場合ニ於テハ仍従前ノ例ニ依ル